

# 春の足音



雪だるまを囲んで（撮影：山口義雄）

## 特集 今、学生生活を振り返る

担任から卒業生へ<sup>ファイブエフ</sup>再会、日本のみなさん

寮生活アンケート結果報告

卒業研究発表会

授業・実習風景⑦

教員の活動紹介<sup>⑩</sup>／先輩から後輩へ<sup>⑩</sup>

受賞／事務部から／キラリ いい顔<sup>③</sup>

インフォメーション

特集

# 今、学生生活を振り返る

～学長を囲んで卒業学年の学生が語る～

**本当に大変な学生生活だった。でも、充実していた…**



平成20年1月7日、守田哲朗学長を囲んで各学科の卒業学年の代表学生に学生生活を振り返ってもらいました。

「カリキュラムが詰まっていて大変な学生生活だった」、「実習現場では勉強プラス患者さんの対応が加わるので苦労した」と口々に語る各学科の学生たち。でも、学生生活は決してつらいものではなく、「目標に向かって突き進むことができ充実していた」、「国家資格を取得して、夢に向かって歩きたい」など川崎医療短期大学での学生生活の満足感や将来の夢を語ってくれました。

今回の特集では、学長との座談会の様子を代表学生の生の声とともにご紹介します。  
(臨床検査科 近末久美子)



看護科 門田 征子  
(川崎医科大学附属病院に内定)

つらいのはみんな同じ…  
逃げずにがんばって!

ありがとうございます。では、学生の皆さん、この学校に入ってよかったことを教えてください。  
◆ ◆ ◆  
**門田(看護科)** 臨床の医師の講義を受けたり、解剖学の実習を行うことができたりと、とても勉強になりました。また、附属病院には本学の卒業生の方がたくさんいらっしゃったので、親しみやすく、充実した実習ができたと思います。

今日は、二年あるいは三年間の学生生活で、こういう点がよかった、こういう点がもう少し…というような話を聞かせてもらえたらと思います。

**卒業を控えた各学科の代表学生の皆さんに学長から激励の言葉をお願いします。**  
**学長** 本学は建学の精神にもあるように、チーム医療を担う実力が有り、健康な心身を持ち、心豊かな人間性と幅広い教養を持った医療技術者の養成を目的に創設されました。開学以来、先生方もその理念に基づき教育を実践し、大きな成果を上げ、高い評価を受けています。これは、先生方の教育が素晴らしいということだけではなく、本学を含む、川崎学園の恵まれた教育施設・設備や素晴らしい環境にもよります。また、入学以来、将来はしっかり医療・福祉技術者や保育士になろうという目的意識をしっかりと持ち、やる気十分に教育を受けられた学生のみなさんの努力によるものと確信しています。

**学長** 附属病院は元来、医科大学の病院ですが、短大の各学科の皆さんも実習の場として使っています。若い時は、多少厳しいと思える環境で教育を受けることも大切ですね。学生時代に厳しい教育を受けたことは、将来指導者としてきつと役に立つと思います。附属病



放射線技術科 太田 和宏  
(岡山中央病院に内定)

実習は、勉強と患者さんの対応とで大変…でも力がつきます。立ってみただけではだめ…

もよかったです。



臨床検査科 衣川 菜美  
(神戸大学に進学予定)

短大で遺伝子に興味があった。進学して癌と遺伝子についてもっと学びたい…

**衣川(臨床検査科)** 私は臨床検査学をよく知らずに入学しましたが、この大学で、臨床検査学を勉強するうちに、さらに興味を湧いてきました。そして、将来もっと勉強したいと思える分野が見つかりました。それは、遺伝子学で、四年制大学に進学して癌と遺伝子について、さらに学びたいと思っています。

学習意欲があれば、先生はきちんと応えてくださる・・・



院には、看護科など本学の卒業生も多く、行届いた指導が受けられます。

**井口(臨床工学科)** 短い期間で国家資格を取って、臨床工学技士として働くという目標が、ぶれないで過ごすことができ、良かったんです。みんなが同じ目標に向かって進むことができ、協力し合って三年間を乗りきれました。また、臨床工学の施設や機器が整っていて、設備面が非常に充実していました。



臨床工学科 井口 景介  
(岡山大学病院に内定)

僕は数学が大嫌いで、苦労した。でも学習意欲さえあればきちんと先生方は応えてくださる...

**平川(介護福祉科)** 僕は一年生のときから学友会の活動に参加してきました。そのおかげで、介護福祉科の中だけでなく、学科の壁を乗り越えた友人関係が築けたことがよかったです。信頼できる友達もできまし、長くかわれる友人もできました。また、実習が二年間で三回と多く、大変だったのですが、現場でなければわからないことや、緊張感を肌で感じることができました。技術面も精神面も非常に鍛えられたような気がします。



介護福祉科 平川 貴一  
(社会福祉法人 緑寿会 新山荘に内定)

僕は講義形式の学習が苦手で、技術だけでは現場でわかりません。でも、勉強はしっかり!!

**岡村(医療保育科)** 私たち医療保育科は、日本ではじめての学科と言うこともあり、他の大学では学べないことや医療に関する実習を多く

体験でき、保育と医療とのかわりを学べた点が良いです。福祉大学など、短期大学以外の学園内の人達ともかわることができました。勉強以外にもサークルや学園祭などで活動することによって楽しめました。



医療保育科 岡村 綾子  
(社会福祉法人 倉敷福祉事業会 昭和保育園に内定)

先輩がいないのは大変だった...。本当は保育士として働くつもりでしたが、就職先が長...

**学長** 一生の間にいろいろなことを相談できる先生や友達を得ることは大切ですね。また、本学は、卒業後すぐに役立つ医療技術者の養成が教育方針です。二年または三年間の教育で、四年制の学生に負けないような厳しい教育をしなければならぬので、かわいそうだという気持ちがありました。でも、今話をお聞きしていると本学の教育は成功したと感じています。

**平川** 僕は介護に関する講義を聴くのは苦手でしたが、技術的なことには興味がありました。実習を行っていく中で、技術を深める面での勉強はとても楽しかったです。  
**学長** 実習が一番役に立ちますよね。しかも、学内実習に加えて学外の施設や病院での実習は、興味がどんどん湧いてくるだろうと思います。

**井口** 臨床工学は機械が相手のことが多いのですが、現場で患者様に接するようになって、機械より、人体そのものが未知の世界で、医学にも興味を湧いてきました。人体の構造やしくみ、あるいは人体そのものが不思議ですごく興味が湧きました。

人体の構造やしくみは神秘的で本当に興味深いですね。私たち教える側も皆さんが興味を持って教えられる側も皆さんが興味を持って、興味を持ったことは自分でどんどん広げ、幅広い学習をしてほしいと思います。今までは良かったことを教えていただきましたが、次に変えたことを教えてください。

**岡村** 私たちは一期生なので先輩がいないという点が大変でした。実習などでわからないことがあっても、先輩に聞くことができなかった。他学科の方がうらやましかったです。就職も先生方と手探りのスタートという感じでした。

**平川** 僕たちは二年制なので、本格的に実習が始まった時には、すでに先輩は卒業してしまっていました。実習について、先輩方から生のアドバイスがもらえなかったことは残念です。

**学長** 介護福祉科や医療保育科は開設されたからの期間が短かったり、先輩がいなかったりして特に大変だったろうと思います。しかし、その分、卒業後、あなた方が先輩の指導などを一生懸命して欲しいと思います。

**井口** 他の学科のことはわからないのですが、臨床工学科は入学の時点でかなり学力レベルに差があると思います。僕なんかは数学が大嫌いなので、本当に苦労しました。周りのみんなができるのに、自分ができないというその差に苦労しました。

**太田** 文系出身の僕も数学が苦手で、授業で先生の言われている言葉が分からないことがありました。

また、一番苦労したのは実習で、患者様の対応と、実習で勉強しなければならぬことの二つが同時に始まり、すごく大変でした。僕らは実習生ですが、患者様から見ると職員も実習生も同じで、学内での授業は自分の知識や技術を深めるためでしたが、実習生だからという理由で





さんもいらつしやるようで、一緒に通勤できることはいいなあと思っています。

**平川** 僕は四月から介護福祉士として現場で働くので、まずは今いらつしやる先輩方とよい関係を作りたいです。そして、何年か先にはその施設の介護長になりたいと思っています。

**井口** 臨床工学技士は病院によっては、あいまいなポジションであったり、認知度が低かったりするのですが、絶対に病院には臨床工学技士が必要だと思ってもらえる職業になって欲しいです。

**学長** もう、なっていますよ。

**井口** いえ、より必要だと思って欲しいという意味です。臨床工学技士として就職し、その土台を築いていくことが夢というか、目標ですね。

**学長** 大いに頑張ってください。期待しています。  
**太田** 僕はCT検査では同級生に負けない技術を身につけたいと思っています。後輩へのアドバイスとしては、遅刻をしないとか授業中居眠りをしないなど当たり前のことをちゃんとやる必要があるということです。それと、実習で力がつくので、立ってみているだけでなく、積極的に取り組んで欲しいですね。

**衣川** 私は四年制大学に編入するので、短大では学べなかったことを学びたいです。そして、企業に就職して、遺伝子検査で癌の発症前診

断ができるような検査法やキットの開発に携わりたいと考えています。後輩の皆さんには、病院実習によって学べることはたくさんあると思うので、自分の考えをしっかり持って実習に臨んで欲しいと思います。

**門田** つらいのは自分だけでなくみんなつらいので、逃げずに頑張ってくださいと思います。今後は、患者様からも医療スタッフからも信頼される看護師になりたいと思っています。

**平川** 先生方が何か言ってお下さるのを待っているだけではなく、何かを知りたいのであれ



**技術だけじゃダメ、勉強も大切なんだ・・・  
つらいのは自分だけじゃない・・・**

ば、自分からどんどん積極的に先輩や先生方とかかわりを持つことだと思っています。僕は勉強が苦手でしたが、実習や現場でも、技術だけでは足りないことがたくさんあることを知りました。仕事をしていく上では、いろいろな知識も必要なので、ちゃんと授業を聞いてしっかり知識を身につけて欲しいなと思います。

**岡村** 実習などで疑問に思うことがあれば、すぐに友達や先生方に聞いて、早く解決することだと思っています。また、医療保育科は子どもを相手にするような実習が多いのですが、大人の立場で考えるのではなく、子どもの目線で、子どもの立場になって考えることが大切かなと思います。

**衣川** 今日は他の学科の人の意見が聞けてとても参考になりました。大変だったのは自分たちだけではなかったんだなと感じました。

**井口** 学科を越えて、価値観の違う人たちと話をするといい機会を得られて、貴重な体験ができたなと思っています。後輩にはこういう機会を在学中にもっと持つてもらいたいですね。いろいろな分野の人たちと会話をするといいことは職場でも大切なことであり、大いにやってみたいと感じました。

◆ ◆ ◆  
いろいろありがとうございました。では、最後に学長から皆さんへ一言お願いします。

**学長** 今日は、とてもよい話をさせていただきました。本学は在学中に他大学に負けないくらい良い教育を実施して参りました。でも、これ

からは生涯教育ということでも、一生、勉強していかなければなりません。是非とも自分の専門とする職種学会に入り、ますます勉強をしていって欲しいと思います。また、専門以外の広い分野についてもいろいろな知識をつけていくことが大切だと思います。それから、是非後輩の皆さんを大切にしてくださいね。

◆ ◆ ◆  
みなさん、カリキュラムは大変でしたが、いろいろなことに興味が湧き、充実した学生生活だったようですね。これからも学問に、医療に、そして人間に興味を持ち、夢に向かって歩みを進めていけることを祈っています。今日は本当にありがとうございました。



**一生勉強です。  
広い分野についていろいろな知識をつけましょう。**

**栄えある「学科賞」受賞予定者**

平成十九年度卒業証書・学位記授与式は三月十五日に挙行され、各学科の成績優秀者に「学科賞」が贈られます。

医療保育科は今年度、一期生が卒業を迎えました。

- 看護科……………田中 善子
- 臨床検査科……………北野 美鈴
- 放射線技術科……………青木 佑恭
- 臨床工学科……………福原 佳奈
- 介護福祉科……………古我真理恵
- 医療保育科……………岡本幸香利

# 担任から 卒業生へ

卒業おめでとう

看護科第三学年担任

須田 厚子



ご卒業おめでとうございませう。社会人としての出発の時です。まだ未熟なところがあっても、恥ずかしいことはありません。何も努力しないことの方が、よほど恥ずかしいことでしょう。夢を持ち、夢がかなえられますよう、こつこつと努力を積み重ねてください。ご活躍を心から期待しています。

看護科第三学年担任

黒田 裕子



ご卒業おめでとうございます。とうとう巣立ちのときですね。皆さんたちはこの短大で社会人になるための準備をし、少しずつ大人になってきました。蓄えた力はきっと幸せを運ぶはず。たくさんの幸せがあたたかに訪れますように。

臨床検査科第三学年担任

土井 和子



臨床検査科第三十三期生の皆さん卒業おめでとうございます。国家ライセンスを手にし、

旅立ち後はきっと豊かな人生が待っています。就職や進学と道は分れますが、短大での経験が大きな幹となり、長く友情を育めますことを祈ります。

臨床検査科第三学年副担任

山本 誠一



臨床検査科第三十三期生の皆様ご卒業おめでとうございます。皆様との素晴らしい出会いに感謝しています。

私から皆様にお伝えしたいことは、  
一、自分を大切に、幸せになってください。  
二、いつも楽しく、前向きに進んでください。  
三、感動の多い人生をお送りください。  
皆様の幸せとご活躍を祈念しています。

放射線技術科第三学年担任

林 明子



ご卒業おめでとうございます。

これから新しい場所へ向かいますが、臆病にならずに、強い気持ちで足を踏み入れてください。でも、傲慢になつて努力を怠つたり、他人を傷つけたりすることだけは決してしないように。

臨床工学科第三学年担任

茅野 功



卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。四月からはいよいよ社会人としての生活がスタートします。これからの人生、禍福は糾える縄の如く君たちに降り掛かりますが、充実した毎日を送れるよう願っています。

介護福祉科第二学年担任

高木 健志



皆様、ご卒業おめでとうございます。本学を卒業したプロフェッショナルとしての誇りと自覚、そして感謝の気持ちをいつも忘れることなく、社会人として、活躍していただきたいと思っております。

介護福祉科第二学年担任

守屋 真季



ご卒業おめでとうございます。今、振り返ってみて二年間の学生生活はいかがだったでしょうか？今後は一人ひとりがそれぞれの人生を歩んでいくこととなりますが、どうかお元気で、なお一層のご活躍をお祈りいたします。

医療保育科第三学年担任

小河 晶子



「流れのままに」私が卒業生の皆さんに贈りたい言葉です。流れなさいという意味ではありません。精一杯の努力をした後は力を抜いて流れに身を任せてみる。そうすると、不思議と自分の進むべき道が見えてくるのではないのでしょうか。

医療保育科第三学年担任

宮津 澄江



卒業生の皆様、卒業おめでとうございます。医療保育科では、健康児、病児、発達障害児などすべての子どもを対象とする保育を学ばれたことと思います。卒業後は保育の専門家としての活躍を期待しています。

平成十九年度卒業生から寄贈

照明センサー化工事一式

給湯設備一式

一階から六階のエレベーターホールおよび二階学生玄関の計七箇所の照明を自動点灯にした。

二階学生ホールに給湯設備(流し台付き)を設置

看護科

王 真栄



「光陰矢の如し」。月日がたつのは早いもので、何時の間にか三年の歳月が流れました。三年間を振り返ってみれば、専門的な知識を学び、いろいろなことを経験し、お世話になった先生方や先輩たちのお蔭で、すこく成長できたと思います。日本で出会った人々の優しさを感じて、心に温かい気持ち溢れてきました。帰国後は、学んだことを生かして、頑張っていきたいと思っています。

看護科

李 佳珠



私は中国・上海から参りました。三年半日本で専門看護を学び、友好交流の活動にも参加しました。そして、日本の素晴らしところを知りました。優しい人達にお世話になりました。人生において、いい経験が出来て、楽しい留学生活を送ることができました。

## 再会、日本のみなさん



学生生活委員会  
寮生活  
アンケート結果報告

学生生活委員会は、学生の皆さんの生活指導とともに、生活支援も行っています。活動の一環として、昨年八月に学生寮生活アンケートを実施しましたので、ご報告いたします。

本学学生寮は室数四百二十八の女子寮です。一月末現在で二百三十名が入寮しています。全室個室で、校舎棟と廊下でつながっているため非常に利便性が高く、朝昼晩、三回の食事を寮食堂でとることが出来ます。舎監、寮母の管理・支援のもと、協力しながら集団生活を送っています。

今回の寮生活アンケートでは、大きく①施設設備、②食事、③人間関係、④生活環境に分け、全五十六項目について尋ねました。また各項目について要望等があれば自由記述で回答してもらいました。各項目の回答分布および自由記述内容はすべて印刷し、寮生に開示しました。ここでは、1(不満である)から5(大変満足している)の五段階で得られた各項目の回答の平均を表にしています。

表1 寮生活満足度調査

(「5:大変満足」から「1:大変不満」の平均)

I. 設備について	
1. 居室の広さ	1.89
2. 居室の場所	2.82
3. 居室の衛生状態	2.21
4. 居室の空調	2.17
5. 居室の空調時間	1.79
6. 居室の静けさ	2.22
7. 居室の照明	2.75
8. 居室の快適度	2.34
9. 居室備品	2.31
10. 談話コーナーの広さ	2.71
11. 談話コーナーの利便性	2.58
12. 談話コーナーの衛生状態	2.21
13. 洗濯室の広さ	2.78
14. 洗濯室の利便性	2.43
15. 洗濯室の衛生状態	2.13
16. 洗濯機などの設備備品	2.13
17. 風呂の広さ	2.88
18. 風呂の利便性	2.32
19. 風呂の衛生状態	2.14
20. 風呂の利用時間	2.12
21. 湯沸し室の広さ	1.72
22. 湯沸し室の利便性	2.02
23. 湯沸し室の衛生状態	1.73
24. 湯沸し室の設備	1.78
25. 洗面所・トイレの広さ	2.65
26. 洗面所・トイレの利便性	2.64
27. 洗面所・トイレの衛生状態	1.88
28. 各階の倉庫について	2.91
29. 下足箱	2.38
30. 遊戯室について	2.88
II. 食事について	
31. 食堂の広さ	2.83
32. 食堂の利便性	2.58
33. 食堂の衛生状態	2.63
34. 食堂の環境	2.99
35. 食事の味付け	2.24
36. 1回の食事の品数	2.66
37. 栄養バランス	2.10
38. 喫食時間	2.28
39. 対応(サービス)	2.78
40. 食費	1.56
III. 人間関係について	
41. 友人	3.47
42. 先輩・後輩	3.13
43. 舎監・寮母	3.48
IV. 生活について	
44. セキュリティ(寮玄関)	2.78
45. セキュリティ(風呂)	2.63
46. セキュリティ(各居室)	2.89
47. 清掃当番	2.94
48. ごみの処理	2.92
49. 受付当番	2.85
50. 入浴時間	2.23
51. 施錠時間	1.89
52. 緊急時対応	2.92

施設設備

校舎と直結して利便性が高い反面、設備が古く、居室が狭いという不満が多く寄せられました。また、冷暖房は、平日では午後五時から、土曜日は昼過ぎから入り、午後十二時で切れます。「日中も空調を効かせて欲しい」など、空調時間についての不満が寄せられています。その他設備関係では、風呂の利便性と利用時間(午後四時から十二時まで)に不満が多く、「入浴時間の制限をなくして欲しい」、「二十四時間シャワーを使えるようにして欲しい」等の要望が寄せられました。また、居室が狭いために冷蔵庫は各フロアで共同使用することになっていますが、盗難が多い等の問題も起きています。

食事

食堂の広さ、環境、利便性にはそれほど不満が多くなかったものの、食費の高さ、メニュー、衛生管理面についての不満が多く寄せられました。

人間関係

設備への不満が高かったのとは対照的に、人間関係については比較的高い満足度が得られました。しかしながら、「協調性がない人がいる」、「マナーが悪い人がいる」、「当番に当たっているのに掃除をしない人がいる」等の指摘があり、集団生活にそぐわない寮生がいることも事実です。

将来医療人を目指す学生の皆さんの意識向上を望むところです。

生活環境

生活環境面について不満が多かったのが寮玄関の施錠時刻についてです。学生寮の門限は午後十時になっており、早過ぎる、との意見がありました。ただし、「門限が早いのでアルバイトができない」という意見については、夜遅くのアルバイトは推奨されるものではなく、学生の皆さんには規則正しい生活を送って欲しいと考えています。



その他、「インターネットの全室完備」や「談話室へのPCの設置」は多くの寮生が望んでいます。これは、レポート作成のための資料収集や就職関連の情報収集にもつながり、早急に整備すべき問題だと認識しています。「自習室の設置」を望む声もありましたが、これは「うるさい人がいる」、「マナーの悪い人がいる」という意見との関連だと思えます。

自由記述での回答の中には改善への建設的な提言も多く、学生生活委員会では、今回のアンケートをもとに、少しでも寮生活が充実するよう、可能なところから改善していくことにしています。まず、最も不満が多かった寮の食事についてで

すが、昨年十一月から寮食堂入り口に「意見箱」を設置しました。この意見箱は、一月に一度開けて、出された意見をまとめ、業者に提出し、具体的な改善を求めています。すでにオーブントースターの取り替え、給茶機の増台、新メニューの実施、味付け、具材の改善、職員の接客研修など、効果があがっています。

湯沸し室の利便性や設備については、電子レンジの新たな設置など具体化したものもありますが、根本的な問題については、事務部、学生部、舎監で協議を進め改善に努めたいと思っています。個室やトイレの設備改善など大規模工事が必要なものについては実現が難しい状況ですが、衛生状態の改善、空き部屋の利用などによって少しでも快適な生活に近づけるよう知恵を出し合っています。

アンケート実施後、毎月の寮生活運営委員会に学生部長も出席しています。遠慮なく意見、要望を出していただき、協力して生活環境の改善や諸規則の見直しに取り組みたいと思っています。学生の皆さんも自分たちが「寮生活」環境を左右する存在なのだという意識を持って集団生活を送っていただきたいと願っています。

(臨床工学科 片岡則之)

## 臨床検査科

平成十九年十二月二十一日（金）本学体育館第一講義室と第二講義室にて、第六回臨床検査科臨地実習研究発表会が開催されました。実行委員長である北野美鈴さんの挨拶の後、二会場に分かれて形態検査系・生物化学系・病因生体系・生理機能系の四部門の計四十二演題の発表が行われました。

十月に各部署に配属された三年生は、八週間かけて指導者の下で実験、データ収集・解析を行い、約一年半の学内実習・病院実習で学んだ知識と技術をもとに研究を進めていきます。結果が分かっていた今までの実習と異なり、試行錯誤を繰り返しながら論文完成に向けデータを揃えていきます。また、研究だけでなく就職活動や国家試験の勉強も同時に進めていかなければならないため、今までにないくらい目まぐるしい忙しさだったと思います。

発表直前まで指導者と打合せをする緊張した姿が見られました。しかし、いざ発表が始まると、不安げな面持ちが一変、堂々としたプレゼンテーションが行われました。「体が二つあれば両方の部屋の発表を聞くことができたのに」と、通山薫主任教授が残念がるほど素晴らしい発表会でした。この経験は将来臨床検査技師になった時にも必ず役に立つと思います。そして、三年生の立派な姿を見た一、二年生にも有意義な経験になったようです。



発表風景



閉会の辞を述べる3年生

（臨床検査科 中原貴子）

## 放射線技術科

十一月二十四日（土）の午後から卒業研究発表会が開催され、学生と教職員を含め、総勢約二百五十名が参加しました。卒業研究自体は、学科の開設当初から行っていますが、卒業研究の成果を抄録集だけで終わらせるのではなく、人前で発表してはどうか、という提案から「発表会」が始まりました。今回で十一回目の開催となり、いまでは毎年恒例の行事となっています。

発表会の準備・運営は、卒業研究の主体である学生（三年生）が中心となって行っています。座長、進行係、受付、照明係などたくさんの方々の役割をみんなで分担し、発表会を成功へと導きました。

発表の形式は、学会での「口述発表」の形式をまね、演題発表が七分間で、引き続き質疑応答が三分間で行われました。演者は、やや緊張しながらも、立派に口述発表をやり遂げました。また、最近では単に発表を行うだけでなく、研究内容を研究成果、プレゼンテーションのできなどを審査員が「評価」し、「表彰」を行う企画も実施しています。今回は、十八の演題発表がありました。研究成果を分かりやすく伝えるため、どの班も工夫を凝らしたプレゼンテーションを行いました。



演者とグループのメンバー



発表風景



座長



進行係（タイムキーパー）

（放射線技術科 天野貴司）

## 臨床工学科

臨床工学科の学生は最終学年において、川崎学園の各大学、病院で活動する多くの研究グループの協力を得て、「卒業研究」を行っています。卒業研究生には、原則的に二人一組として、医用工学に関する様々な研究テーマの中から一つのテーマが与えられ、研究チームの方々によるご指導を受けながら、卒業研究生同士で協力しあって研究を進めます。その後、十二月には、卒業研究論文集に論文を発表し、さらに卒業研究発表会において、多くの教員や学生の前で研究内容を口演します。

卒業研究に臨むまでの学生は、クラス全員が同じ内容について学びますが、卒業研究では、学生ごとに異なる内容について学習し、その内容を他の学生等に教えるという初めての学習方法を体験します。このような学習の仕方は、卒業後は、それぞれの領域の研究会や学会、あるいは施設内での勉強会などで一般的に行われるものですが、学生にとっては初体験です。下級生も出席するため、初めて聞く人にも理解しやすく説明する必要があります。多くの卒業研究生は、自分が発表する内容について、自分自身よく理解していないと聞き手は到底理解できないという、当たり前ですが重要な法則を知ることになります。

今年度から、卒業研究生はさらに新たな経験もすることになり、司会進行も学生が担当することになりました。座長には、発表内容を理解するだけでなく、適切に議論を進める役割が求められます。困難な課題ですが、学生同士で協力しあって発表会を進行する様子は頼もしく、将来、学会や研究会で活躍する卒業生の様子が想像され、楽しみにになりました。

（臨床工学科 後藤真弓）



座長を務める学生

# 医療保育科（五種類の実習）

医療保育科では、五種類の実習があります。まず、保育士資格取得のための「保育所実習」「施設実習」があり、次に幼稚園教諭第二種免許取得のための「幼稚園実習」があります。そして、三次年には「小児病棟／病児保育実習」もしくは「発達障害児保育実習」のどちらかを選択することができ、学生は進路や希望に沿った実習に臨むことができます。今回は、各実習について学生の体験談を交えて紹介いたします。

## 保育実習

保育実習には「保育所実習（必修）」、「施設実習（必修）」、「保育所実習か施設実習（選択必修）」の三段階があります。

### 1 保育所実習（二年次）

岡山県内の保育所で行います。乳幼児への理解を深め、保育所の役割や保育士の職務を学びます。また、選択実習では保育活動を実践し、総合的な保育活動の理解と専門的な保育技術の習得を目指します。

#### ■体験談

二年生 難波 貴志  
二歳児クラスを担当し、実習中に音楽発表会がありました。当日、緊張や不安で泣いてしまう子がいました。そこで、「お母さんが見に来ているよ」と声をかけると子どもたちは泣きやみ、意欲的に参加してくれました。声かけの大切さを改めて感じました。

### 2 施設実習（二年次）

居住型児童福祉施設などで行います。生活をともにして児童への理解を深め、施設の役割や保育士の職務を学びます。また、選択実習では施設養護における指導技術や専門知識の習得を目指します。

#### ■体験談

二年生 橋本 可奈子  
私は児童養護施設と、肢体不自由児施設で実習しました。そこで学んだことは、「大人が楽しいと思うことを提供するのではなく、子どもができることを楽しく行えるようにする」です。子どもの目線に立った活動を実践していきたいです。



施設成果発表



保育所成果発表

## 取得可能な資格／幼稚園教諭第二種免許

### 3 幼稚園実習（三年次）

概ね学生が希望する幼稚園で実習を行います。実際に触れ合う体験を通して幼児への理解を深め、また指導の方法や内容を習得することを目指します。

#### ■体験談

三年生 逢坂 麻由  
実習は四週間ありました。その期間、指導内容の立案やピアノの練習、それから教材研究にお楽しみ会の準備等、時間がいくらあっても足りないと思う毎日でした。実習で学んだことは、子どもの発達に合った教材を提供することの喜びです。「生懸命作ったものを子どもが楽しく遊んでいる姿を見ると、とても幸せな気分になりました。」



学内実習指導  
(発達障害児保育実習)



学内実習指導  
(小児病棟／病児保育実習)

### 4 小児病棟／病児保育実習（三年次）

岡山県内や県外の病棟保育を実践している病院で行います。小児病棟などに入院・通院する乳幼児への保育について現場で学びます。

#### ■体験談

三年生 大西 沙由梨  
実習では病児に遊びを提供したり病児の家族に対する支援を行いました。実習を通して、病児一人ひとりの症状や興味関心などに合わせた遊び、そして、その提供の仕方を学びました。また、看護師をはじめ他職種と連携することの大切さ、病児の家族とかがわかることの難しさも感じました。十日間という短い期間でしたが、とても充実した実習を行うことができました。



### 5 発達障害児保育実習（三年次）

保育所、知的障害児施設、特別支援学校（従来の養護学校）などで行います。自閉症など、発達に障害のある子どもへの個別支援を実践します。

#### ■体験談

三年生 安立 麻美  
知的障害児施設で実習しました。実習では散歩へ行ったり、トランポリンや布ブランコで遊んだりしました。この実習で、子ども一人ひとりの発達段階や障害をしっかりと把握することが大切だと感じました。また、目的を明確にし、どのような遊びを提供するべきかを考えるようになり、学びを深めることができました。授業だけでは学べないことをたくさん経験することができました。



教員の活動紹介⑩

## 血液細胞の姿に魅せられて

臨床検査科 教授 通山 薫 (臨床病態学・血液検査学)



短大と医学部を併任しておりますので、医学部の一角に検査診断学(病態解析)というこじんまりした研究室を営んでいます。医学部所属の教員は私を含めて現在三名体制で、短大・医学部の学生教育(ときに福祉大まで)、内科診療業務、中央検査部・輸血部の管理運営等、各員目まぐるしく立ち回っておりますが、研究室に戻るとほっと一息入れて、今度は血液細胞というミクロの世界に没頭します。

期には臨床検査科学生を迎え入れて、若者を中心にしばしば大にぎわいになります。私が、秘書兼研究室マネージャーの栃木亜紀さんがいつも麗しくかつしっかりと取り仕切ってくれており、活気と和やかさのある研究室です。

研究室では窮屈ながらも、通常の細胞実験はもとより基本的な遺伝子実験や蛋白質解析まで大体この部屋でおこなっています。医学部教員や大学院生に加え、短大の教員、ときには検査部スタッフや学外からの客員研究員、さらに臨地実習の時

私自身もともと血液内科医なので、血液細胞の増殖・分化・腫瘍化の分子機構の一端を解明することが主な研究テーマです。また血液難病である骨髄異形成症候群(MDS)については基礎的検討から全国的な臨床疫学調査を担当するなど幅広く関わっています。さらに中央検査部と企業との共同研究を推進し、新しい検査の開発に取り組んでいます。



2007年研究室忘年会のひとコマ

ます。医学部教員や大学院生に加え、短大の教員、ときには検査部スタッフや学外からの客員研究員、さらに臨地実習の時

むずかしいことはさておき、さまざまな血液細胞が漂っている培養器内はさまざまなミニチュア水族館のごとくで、浮遊したり接着したりと千変万化の細胞動態に魅せられ、あるいは悩まされながらその本質を探ろうと模索する日々ですが、当研究室からぼちぼちユニークな研究成果も発信しつづけています。血液学に限らず、広く細胞のことに関心をお持ちの方は、ぜひ一度当研究室をのぞいてみてください。

私自身も日々励んでいます。私が川崎医療短期大学を卒業して現場に出た時は、正直、業務を覚えることに必死で周りが見えず、気持ちに余裕がありませんでした。そんな時、利用者様在不愉快な思いをさせてしまうような声掛けをしてしまった事があります。その事では、私自身もひどく落ち込みました。一人では解決できず先輩や上司に直ぐ相談した結果、誤解はとけました。一部始終を見ていたある利用者様が私に「言葉が足らんかったなあ。けど、あんたは傷つけようと思って言った訳では無いことは充分わかるとるよ。私はあんたのことよく知ってるんじゃけん」と言って励ましてくださりました。励ましの言葉を頂

き、私は、今年度の春で介護老人保健施設「倉敷あいあい」に勤めて三年目になります。最近までは先輩に頼っていた私も後輩が入り先輩になり、実習生を指導する立場となりすっかりしなくなっているな気がしています。利用者様は職員としての行動も見てくださっています。私たちが我が子のように成長を楽しみにしてくださっていると感ぜられた言葉でした。今では一呼吸おいて声掛けするように心がけています。この三年間で悲喜こもごも色々経験しました。介護の仕事だからこそ経験できることが沢山あります。実際に経験することで、人と人とのふれあいの中で生まれる感情や思いをストレートに肌や目、耳で感じるからこそが介護の魅力であり、このような経験のできる介護の仕事は私は誇りに思います。これからも利用者様の笑顔に励み、元気で働いていこうと思います。また、この先どんな経験ができるか楽しみです。

先輩から後輩へ⑩

## 声掛けの大切さ

倉敷あいあい介護福祉士堀亜由美 (介護福祉科三期生)



利用者様と一緒にちらし寿司を作っている様子

私は、今年度の春で介護老人保健施設「倉敷あいあい」に勤めて三年目になります。最近までは先輩に頼っていた私も後輩が入り先輩になり、実習生を指導する立場となりすっかりしなくなっているな気がしています。利用者様は職員としての行動も見てくださっています。私たちが我が子のように成長を楽しみにしてくださっていると感ぜられた言葉でした。今では一呼吸おいて声掛けするように心がけています。この三年間で悲喜こもごも色々経験しました。介護の仕事だからこそ経験できることが沢山あります。実際に経験することで、人と人とのふれあいの中で生まれる感情や思いをストレートに肌や目、耳で感じるからこそが介護の魅力であり、このような経験のできる介護の仕事は私は誇りに思います。これからも利用者様の笑顔に励み、元気で働いていこうと思います。また、この先どんな経験ができるか楽しみです。

## 事務部から

財布はどのようにして持っていますか？

事務部庶務課 阿藤 孝子



近頃、落とし物の中に“財布”が目立つようになり、心当たりのある方が多いのではないかと思います。また、盗難も増えてきています。

財布を外に出して歩く（つまり人に見せる）ことに、何の抵抗も感じていないのではありませんか？ どんなにおしゃれで高価な物でも、支払時以外は人前に出すものではないと思います。ですから学内で持ち歩く時は、カバンの中に入れることをお勧めします。なぜなら、カバンを忘れる人はあまりいないからです。自転車に乗る時にも、財布をそのまま前カゴに入れて走るのは危険です。公共の場で人に財布を見せるということは、自分の財布を盗ってくださいと宣伝して歩いているようなものです。盗難防止のためにも、「この場所に置いて大丈夫だろうか？」と日々、管理を怠ってはなりません。

交番から時々、「短大の学生証が入った財布を預かっています」と連絡を頂きますが、届けられているのはラッキーな方です。そうでなければ、カード等を悪用されてしまう恐れもあり、大変なことになります。

卒業して社会に出ると、職場で扱う個人情報や漏洩しないか常に注意を払わなければならないこともあります。まずは、自分の大事な財布を無くさないように危機感を持つことから始めてはいかがでしょうか？

## 兵藤文則教授へ 両備檉園記念財団助成金



平成十九年十月三日（水）、岡山市の両備ホールディングスで第二十九回両備

檉園記念財団助成金の贈呈式が行われ、本学看護科兵藤文則教授が受賞した。

「珪酸・珪酸塩化合物曝露による直接的および間接的なトリンプールへの影響」をテーマとしたものである。



両備檉園記念財団は、毎年領域別に公募し、有為な研究成果と今後の活躍を期待して助成金を贈っている。兵藤文則教授の受賞は、

## 小郷正則教授 『厚生労働大臣表彰』を受賞



平成二十年二月八日（金）、ホテルオークラ東京で、社団法人日本臨床衛生検査技師会創立四十五周年記念式典が行われ、本学臨床検査科小郷正則教授が、『臨床衛生検査業務功労者の厚生労働大臣表彰』を受賞した。これは、多年にわたる岡山県臨床検査技師会会長としての活躍、また、臨床検査業務を通じて、

国民医療の向上発展に多大な寄与をした功績が高く評価されたものである。



を通過して、山県臨床検査技師会会長としての活躍、また、臨床検査業務を通じて、

気楽に来てくださいね



医務室 養護職員 瀬戸 和子さん

医務室での仕事を始めて約十カ月

になります。初めは年齢差もあり、学生さんと直接接することに戸惑いと不安がありました。しかし、若い学生さんは柔軟性があり、私に合わせるくれたり、教えてくれたり、気持ちをサポートに言ってくれたり接するうちに不安はすぐに消失しました。

医務室では、傷や病気の手当てと病気の相談が主な仕事です。学生さん達の心身の健康を把握するには、コミュニケーションや言動、表情、顔色等から適切に声をかけアドバイスする事が大切だと感じるようになりました。

生活面では、破れたズボンやスカートの裾の裁縫のお手伝い、掃除、料理の相談もあります。時には、反対にアルバイトで知った料理のコツを教えてくださいます。その他、ダイエット、人間関係や恋愛問題、シヨツピングやプレゼント、学業・就職のこと等、話題も仕事も尽きません。

## 心もからだも癒される医務室に



「キラリ・いい顔」は学生さん達の「ありがとうの笑顔」です。

学生さん達とコミュニケーションする時には、同じ目線で意見交換やアドバイスをするように心がけています。

医務室を訪れる学生さんはいさつがとでもさわやかです。辛いことや、痛いことがあつて訪れたら「ありがとうございます」と報告して「先生お久」（久しぶりの略）「どうしたとつた」と何もなくても顔を出してくれれます。なんと良い育ち方をしているのだろうと感心します。

もちろん医務室を訪れる学生さんの一部、一面を見ているにすぎませんが、このように素敵な学生生活を送ってほしいと思います。

そして、患者さんに元気を与える医療人になって欲しいと願っています。私にとつての「キラリ・いい顔」は学生さん達の「ありがとうの笑顔」です。

平成20年

# 公開講座

第1回

## 講座名:「花粉症の予防と治療薬」

講師: 内田昌宏 (本学看護科教授)  
 日時: 3月20日(木) 春分の日 10:00~11:30  
 会場: 川崎医療短期大学 体育館101教室

第2回

## 講座名:「発達障害児の保育と子育て支援」

講師: 小河晶子 (本学医療保育科講師)  
 日時: 8月23日(土) 10:00~11:30  
 会場: 川崎医療短期大学 体育館101教室

第3回

## 講座名:「メタボリックシンドローム～画像で診るあなたの健康～」

講師: 今城吉成 (本学放射線技術科 教授)  
 友光達志 ( // 准教授)  
 林 明子 ( // 講師)  
 日時: 10月11日(土) 10:00~11:30  
 会場: 川崎医療短期大学 体育館102教室

平成20年度

# オープンキャンパス

来年度のオープンキャンパスは、以下の予定で開催します。新たな企画として、3月春休みの期間を利用し、主として高等学校1・2年生の方に「**まず本学のことを知っていただく**」ため、オープンキャンパスを開催します。まず、この3月に本年度第6回目として追加開催で実施します。

詳細については、本学ホームページをご覧ください。教務課までお問い合わせください。(☎ 086-464-1033)

なお見学は、随時受け付けております。  
 (平日17:00まで、土曜日12:00まで)

	期 日	日 程
平成19年度 第6回	3月20日(木・祝)	10:00~12:00
第1回	5月24日(土)	13:00~16:00
第2回	6月15日(日)	13:00~16:00
第3回	7月27日(日)	10:00~15:00
第4回	8月23日(土)	13:00~16:00
第5回	10月11日(土)	10:00~15:00
	10月12日(日)	10:00~15:00
第6回	3月20日(金・祝)	10:00~12:00

## 主要行事 (4月~6月)

4月  
 1日 新入生オリエンテーション (~5日)  
 3日 新入生健康診断  
 4日 第54回臨床検査技師国家試験合格発表  
 第60回診療放射線技師試験合格発表  
 第33回医療福祉教養講座  
 5日 臨床工学科ワッペン授章式  
 7日 入学式  
 8日 看護科3年臨床実習開始 (~10/3)  
 放射線技術科3年臨床実習開始 (~7/24)  
 臨床工学科3年病院実習開始 (~7/18)

5月  
 12日 第34回医療福祉教養講座  
 17日 スポーツ大会  
 24日 第1回オープンキャンパス  
 26日 医療保育科3年幼稚園実習開始 (~6/22)

6月  
 1日 学園創立記念日  
 15日 第2回オープンキャンパス  
 16日 介護福祉科2年第二段階実習開始 (~7/12)  
 18日 医療保育科2年保育実習Ⅰ開始 (~28)  
 23日 第35回医療福祉教養講座

## 平成20年度一般入試前期結果

一般入試前期 (試験日 1月30日、合格発表 2月6日)

	看護科	臨床検査科	放射線技術科	介護福祉科	医療保育科	計
募集人員(名)	40	28	30	10	20	128
志願者数(名)	120	89	93	9	22	333
志願倍率(倍)	3.0	3.2	3.1	0.9	1.1	2.6
合格者数(名)	90	51	50	9	19	219

平成20年度一般入試前期は、志願者数333名(募集人員128名、志願倍率2.6倍)の結果となりました。【平成19年度:志願者数403名(募集人員150名、志願倍率2.7倍)】

なお、一般入試後期は3月14日(金)に実施されます。詳細は本学教務課までお尋ねください。入試情報は本学ホームページにも掲載されています。

平成21年度の入試概要は、6月以降に公表しますので、ホームページ等をご覧ください。なお、詳細については、学生募集要項をご確認ください。

入試に関する問合せ先

一教務課—  
 電話: 086-464-1033  
 Eメール: nyushi@jc.kawasaki-m.ac.jp

## 学 生 表 彰

日本臨床工学技士教育施設協議会	会 長 賞	臨床工学科3年	津田 真実
日本臨床工学技士会	会 長 賞	臨床工学科3年	福原 佳奈
電気・情報関連学会中国支部	卒業生表彰	臨床工学科3年	福原 真一
社団法人介護福祉士養成施設協会	会 長 賞	介護福祉科2年	坪井 唯
全国保育士養成協議会	会 長 表彰	医療保育科3年	大塚 香里

## 川崎医療短期大学広報誌「若きいのち」(60号)

平成20年3月発行

編集発行: 広報誌編集委員会

名木田恵理子(一般教養・委員長)  
 藤原忠昭(庶務課・副委員長)  
 橋本美香(一般教養) 影本妙子(看護科)  
 近末久美子(臨床検査科) 天野貴司(放射線技術科)  
 立花博之(臨床工学科) 河邊聡子(介護福祉科)  
 中井 靖(医療保育科) 重政有里(庶務課・書記)

写真協力: 二葉写真館

印刷: 友野印刷株式会社

皆様からのご意見・ご要望をお待ちしております。

〒701-0194

倉敷市松島316 川崎医療短期大学 広報誌編集委員会

電話: 086-464-1032(庶務課)

Eメール: shomu@jc.kawasaki-m.ac.jp

ホームページ

http://www.kawasaki-m.ac.jp/jc/home/

## 編 集 後 記

編集作業を進めていた一月、岡山に珍しく雪が積もりました。学生玄関を出ると、日本の学生と中国からの留学生が、雪合戦をしたり、雪だるまを作ったりと大はしゃぎです。表紙の写真はそんな無邪気な顔を捉えたいと「コマ」にて、講義や実習で忙しい毎日を送っている学生の皆さんにとって、友達との雪遊びは、ほっと息つける瞬間になったでしょうか。

本号は、卒業を控えた各学科の代表学生の皆さんと学長との座談会の様子を特集しました。「実習は大変だった」、「カリキュラムが詰まっていた忙しい学生生活だった」と、どの学科の学生からも学生生活の厳しさが窺われました。二年または三年間で多くのことを学習し、病院や施設の実習をこなしていくことは想像以上に大変で、肉体的にも精神的にもつらかったことだろうと思います。でも、そんな学生生活を終え、無事卒業を迎えようとしている皆さんの顔は、一様に達成感で満たされ、夢と希望であふれていました。ただ単に、つらいだけの学生生活ではなく、厳しい中でもしっかりと自分を振り返り、人への優しさを身につけた姿がありました。そしてさらに、未来へ向かって自分たちの足で歩き始めようとしている頼もしい姿が見られることを本当に嬉しく思います。胸を張って前へ、前へ歩んでください。

(近末久美子)